

特別展「うきたつ人々 ～幕末若狭の祭礼・風俗・世相～」主な展示資料写真



「小浜祇園祭礼絵巻」(部分) 江戸後期 廣嶺神社蔵 小浜市指定有形民俗文化財

長さ20m。幕末期の祭礼の様子だけでなく、祭りに集う人々の髪型や衣装、小物まで詳細に描く



「布袋山」布袋面 安政5年(1858) 酒井区蔵
絵巻に描かれ、現在の小浜放生祭の「布袋山」にも飾られている



日本髪かつら「両輪」 (有)京屋かつら製作
絵巻にも多く描かれる、上方の既婚女性が結う髷の代表格



錦絵「大坂下り軽業大夫 早竹虎吉」 安政4年(1857) 国立民族学博物館蔵

幕末期に大人気を博した軽業芸人 早竹虎吉一座が江戸西両国で興行したときの演目を総覧した錦絵。

早竹虎吉は小浜でも興行を行っている。



戊辰戦争諷刺画「幼童遊び子をとるところ」 慶応4年（1868） 加藤昭二氏蔵



戊辰戦争諷刺画「おそろししのけだもの」 慶応4年（1868） 京都国際マンガミュージアム蔵

事件や戦争についての出版・報道がかたく禁じられている中、戊辰戦争における諸藩の動向や戦況を伝えるために、子どもの遊びや歴史的な出来事、伝説などに見立て、さらに各藩や関係する人物を連想させる家紋や名産などを符号化して描いた一連の浮世絵を、戊辰戦争諷刺画という。